

2017年度 京都大学経済研究所

第84回 CAPS 研究会

及び

2017年度京都大学経済研究所共同利用・共同研究拠点

「動学確率的一般均衡モデルとマイクロデータを活用した、
近年の成長戦略や財政再建策が日本のマクロ経済に与える影響の解明」研究集会

2018年3月10日（土）

於 京都大学経済研究所北館 N202 教室（吉田キャンパス）

開会の辞 10:15

第1報告 10:15～10:35

出水友貴（財務総合政策研究所）、小嶋大造（京都大学経済研究所）、小池孝英（財務総合政策研究所）
「医療・介護費の予測誤差とその要因」

第2報告 10:35～11:00

松本龍太郎（財務総合政策研究所）、小嶋大造（京都大学経済研究所）
「食料品価格上昇による消費への影響」

第3報告 11:00～11:25

三好向洋（愛知学院大学 経済学部経済学科）
「日本の労働分配率の低下要因について」

第4報告 11:25～11:50

新居理有（高知工科大学 経済・マネジメント学群）
「Public Debt Policy in a Political Process under an Inter-generational Conflict」

第5報告 11:50～12:10

山崎丈史（財務総合政策研究所）
「The simulation of heterogeneous-agent OLG economy」

閉会の辞 12:10